

国際機関名 (英語略称)	大陸棚限界委員会 (CLCS)
英文名称	Commission on the Limits of the Continental Shelf (CLCS)
種 別	<input type="checkbox"/> 国連事務局 <input type="checkbox"/> 国連事務局に設けられた信託基金 <input type="checkbox"/> 国連基金・計画 <input type="checkbox"/> 国連専門機関 <input type="checkbox"/> 国連その他補助機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他国際機関 <input type="checkbox"/> 非国家間機関

【所管官庁担当課・室名】外務省国際法局海洋法室

【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】

本部所在地: 米国(ニューヨーク: 国連本部)

活動目的等:

- 大陸棚限界委員会は、国連海洋法条約(1982年採択、1994年発効)附属書II第1条により設置されている。(会合開催地は国連本部(NY)、事務局は国連事務局法務部海事海洋法課)
- 大陸棚限界委員会は、21人の委員で構成される。委員は、国連海洋法条約締約国会合において行われる選挙で選出される地質学、地球物理学又は水路学の専門家で、個人の資格で職務を遂行する。現在の委員の任期は2022年6月まで。
- 大陸棚限界委員会の任務は、大陸棚の外側の限界が200海里を超えて伸びている区域における当該限界に関して沿岸国が提出したデータ等を検討し、国連海洋法条約第76条等に従って勧告を行うこと、及び沿岸国の要請がある場合には、上記のデータの作成に関して科学上及び技術上の助言を与えること。

【当該国際機関の財政(2017年)】(千米ドル)

出典: 非公表

	総収入(千米ドル)	総支出(千米ドル)
分担金・義務的拠出金	-	-
任意拠出金	904	524
会計年度: 暦年(1月~12月末)		
会計検査機関名: 国連会計検査委員会(BOA) (構成員の出身国: インド, チリ, ドイツ)		

【任意拠出金の拠出上位5か国等(2017年のもの)】

出典: 非公表

	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			
	日本【注】	120	

【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(年のもの)】

出典:

	国 名	金額(千米ドル)	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			

【我が国による拠出の形態】

分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:

任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁:

大陸棚限界委員会途上国委員の会議参加支援のための信託基金拠出金、外務省

【当該国際機関で働く邦人職員(2017年12月末時点)】

邦人職員数	1人	当該機関全体の職員数	21人
うち幹部以上	うち1人	及び邦人職員が占める率	5%

【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】

ポストの名称	職員氏名	備考
大陸棚限界委員会委員	山崎俊嗣	21人で構成される大陸棚限界委員会の委員 (会合開催期間のみ開催地NYに滞在)

【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)

2017年12月、第4回海洋法に関する国際シンポジウム参加のため、CLCS前議長含む5名のCLCS委員来日。

【備考】

【注】当該機関の財政状況及び任意拠出金の拠出国に関する情報は公表されていないため、平成29年度の我が国任意拠出金額のみを記載。